1. 小学校区別地区別の児童数 ※住民基本台帳参照

令和7年4月1日現在

■上牧小学校区

(単位:人)

地区名	/\1	1/12	//\3	//\4	/J\5	/\s6	<i>≣</i> †
南上牧(中筋出作含む)	6	3	2	4	5	2	22
プレステアーバン西大和	2	1	1	3	4	3	14
五軒屋	1	0	0	1	0	0	2
三軒屋	3	7	3	5	4	4	26
北上牧	6	11	15	4	7	9	52
松里園	2	4	2	5	3	8	24
葛城台	4	1	7	11	8	8	39
米山台	16	8	10	8	8	16	66
計	40	35	40	41	39	50	245

■上牧第二小学校

(単位:人)

地区名	1/1	1/12	//\3	//14	/J\5	/J\6	<i>≣</i> †
緑ヶ丘	6	2	0	4	3	1	16
下牧2丁目	2	1	2	1	2	2	10
下牧3丁目	6	8	4	4	6	0	28
金富	0	0	0	1	0	0	1
梅が丘	0	0	0	1	0	0	1
友が丘	6	5	3	1	7	4	26
片岡台1丁目	6	5	3	1	7	4	26
片岡台2丁目	6	1	4	5	3	6	25
片岡台3丁目	3	4	5	4	6	6	28
桜ケ丘1丁目	5	2	5	2	3	2	19
桜ケ丘2丁目	3	8	4	2	8	2	27
桜ケ丘3丁目	2	3	7	5	3	4	24
計	45	39	37	31	48	31	231

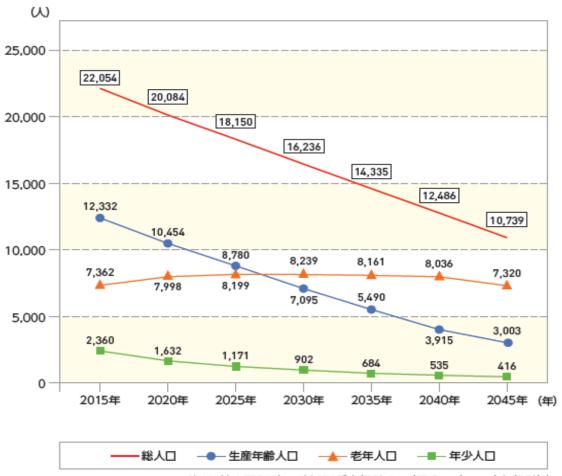
■上牧第三小学校

(単位:人)

地区名	小1	1/12	1/13	1/14	<i>1</i> /15	<i>1</i> 16	計
新町	1	3	1	0	3	5	13
滝川台	7	7	10	11	11	9	55
服部台	10	18	17	9	14	14	82
ゆりが丘	2	2	1	1	1	0	7
下牧1丁目	1	6	7	3	3	14	34
ささゆり台	24	21	20	29	29	13	136
計	45	57	56	53	61	55	327

2. 町の人口推計

■国立社会保障・人口問題研究所よる推計(総合計画抜粋)



資料:社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

(説明)

総合計画において将来展望人口を設定するに当たっては、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果をベースとしています。上記の人口推計は平成30年(2018年)に実施されたもので、令和27年(2045年)までの推計を紹介したものです。

生産年齢人口が大きく減少し、年少人口についても次第に減少する予測となっています。その一方、 老年人口については緩やかに増加し、全体的な人口減少の進行にあわせて、令和12年(2030年)以降 は徐々に減少する見込みとなっています。

■町の人口シミュレーション(総合計画抜粋)

仮定.1

町の施策により子育て支援等を行い、令和27(2045)年に合計特殊出生率が2.10まで上昇し、 その後、2.10を維持すると仮定した場合。

仮定.2

仮定1のとおり合計特殊出生率の上昇を見込むとともに、町の施策により定住・移住・転入 者支援等を行い、令和2(2020)年以降、0~64歳の純移動率が2%上昇すると仮定した場合。

<人口推計シミュレーション >



(説明)

総合計画では、町の魅力を維持し、適切な行政運営を遂行するために必要な人口目標として、将来 展望人口「令和42年(2060年)に18,000人を維持」と掲げています。

この将来展望を達成するために、様々な施策(総合戦略)を展開することによって、令和27年 (2045年)に合計特殊出生率2.1を達成するとともに、0歳から64歳(年少人口及び生産年齢人口)の 純移動率(転入数から転出数を引いた数の比率)2%を実現することを目指しているものです。